

地域創成研究センター登録研究会・地域貢献組織 平成18年度 補助団体活動報告書

平成19年3月31日

研究会名	リーガルクリニック研究会								
代表者名	竹内 康博								
本年度の活動概要	<p>毎週金曜日午後2時から4時20分（平成18年4月14日から）、アイアイ法律相談所において行われている無料法律相談に、できる限り参加した。</p> <p>7月7日(金)午後4時から5時30分まで、愛媛弁護士会館において、リーガルクリニックの打ち合わせ。</p> <p>11月22日(水)午後2時から4時まで、23日(木)午前10時から12時まで、愛南町御荘老人福祉センターにおいて、無料法律相談を行った。</p> <p>2月18日(日)午後1時から午後4時まで、大街道サテライト分室において、無料法律相談を行った。</p> <p>3月21日(水)午後2時から5時まで、上島町岩城社会福祉事務所において、無料法律相談を行い、翌日は今治市の無料法律相談の実情を調査した。</p>								
補助費を使用した活動とその費用内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">旅費・交通費（愛南町分）</td> <td style="text-align: right;">151,609円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（上島町分）</td> <td style="text-align: right;">66,240円</td> </tr> <tr> <td>文具代</td> <td style="text-align: right;">28,812円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">246,661円</td> </tr> </table>	旅費・交通費（愛南町分）	151,609円	（上島町分）	66,240円	文具代	28,812円	計	246,661円
旅費・交通費（愛南町分）	151,609円								
（上島町分）	66,240円								
文具代	28,812円								
計	246,661円								
補助費を使用した成果物等	<p>無料法律相談の際に記入した「相談カード」は、個人情報が含まれるため、アイアイ法律相談所に保管してあります。</p>								

地域創成研究センター登録研究会・地域貢献組織 平成18年度 補助団体活動報告書

平成19年3月5日

研究会名	多文化社会研究会
代表者名	山川 廣司
本年度の活動概要	<p>多文化社会研究会は全体活動の公開シンポジウム（年2回）と個別のシンポジウム・フォーラム・研究会を重層的に組み合わせ、日頃の研究成果を広く公開している。</p> <p>平成18年度は研究会全体の活動として第11回公開講座「世界遺産－その公開と保存を巡って－」（2006年7月8日，メディアホール），第12回公開シンポジウム「現代の巡礼－四国遍路と世界の巡礼－」（2006年11月18日，教育学部大講義室）のほか，多文化社会研究会例会（2007年1月19日，語学演習室）を開催した。また個別活動では，研究集会「現代の巡礼－四国遍路と世界の巡礼－」（2006年11月19日，法文学部大会議室），第6回英語文化フォーラム「異文化との対話－多様化する英語の世界－」（2007年1月13日，法文学部大会議室）などの活動を行った。</p>
補助費を使用した活動とその費用内訳	<p>平成18年度多文化社会研究会第11回公開講座「世界遺産－その公開と保存を巡って－」 後援：地域創成研究センター</p> <p>平成18年7月8日(土)13：30－17：00 愛媛大学総合情報メディアセンター・メディアホール</p> <p>なお，本シンポジウムの報告書は，地域創成研究センターより公布された研究活動補助費により作成した（2006年12月25日発行 250部）。</p>
補助費を使用した成果物等	『平成18年度愛媛大学法文学部多文化社会研究会第11回公開シンポジウム報告 世界遺産－その公開と保存を巡って－』多文化社会研究会，2006年12月25日発行（250部作成）

地域創成研究センター登録研究会・地域貢献組織 平成18年度 補助団体活動報告書

平成19年 3月26日

研究会名	芸予地震被災資料救出ネットワーク愛媛
代表者名	内田 九州男・武智 利博
本年度の活動概要	<p>1. 調査・整理作業 今治市・松山市で秋山家資料を中心に資料整理作業を計24回行った。松山市・伊予市で資料調査を各1回行った。</p> <p>(ア) 今治市計21回 (イ) 松山市計4回 (ウ) 伊予市計1回</p> <p>2. 歴史懇話会の開催地域歴史資料の整理方法を普及させるため、歴史懇話会を愛媛大学で計3回開催した。</p> <p>第1回 平成18年11月25日 (参加者35名) 第2回 平成19年1月27日 (参加者26名) 第3回 平成19年3月24日 (参加者13名)</p> <p>3. 刊行物『今治市・秋山家資料目録Ⅲ』</p> <p>4. 配布物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル：『愛媛資料ネット会報』第8号, 第9号 ・編集・発行：愛媛資料ネット ・発行部数：300部 ・発行日：平成18年5月10日, 10月16日 ・配布先：愛媛資料ネットメンバーなど ・概要：過去半年間の活動内容及びそれに関する小論 ・目的：活動内容の周知, 資料保存の協力
補助費を使用した活動とその費用内訳	<p>地域歴史資料を保存・活用するため、芸予地震時に救出した資料を今治史談会のメンバーを中心に整理し、その目録を作成した。</p> <p>『今治市・秋山家資料目録Ⅲ』印刷費100,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行部数：500部 ・発行日：平成19年1月20日 ・配布先：図書館, 博物館, 愛媛資料ネットメンバーなど
補助費を使用した成果物等	『今治市・秋山家資料目録Ⅲ』

地域創成研究センター登録研究会・地域貢献組織 平成18年度 補助団体活動報告書

平成19年3月16日

研究会名	愛媛大学国際比較文化フォーラム
代表者名	竹永 雄二
本年度の活動概要	<p>研究会2回（6月，3月），公開講演会1回（12月），海外調査1回（9月）を実施した。</p> <p>第1回の研究会では，本年度の研究テーマを地域との関連から，「文学とふるさと」とし，それぞれの領域（中国，アメリカ，ドイツ，イギリス文学）で国際比較の視点から研究を行い，成果を公開することとした。公開講演会では次の3氏の公演を行った。加藤國安氏「子規の漢詩－故郷への思い」，林康次氏「アメリカスにおける〈ローカリズム〉の語り－フォークナーとアナーヤの〈帰郷〉物語をめぐって」，宇和川耕一氏「ドイツ（文学）における〈故郷（Heimat）〉－癒しと禁忌の狭間で－」。海外調査では，イギリス南西部にあるジェイン・オースティンが暮らした村チョートンを訪問し，ふるさとと文学創造の関わりについて資料を収集した。</p> <p>第2回の研究会では，今年度の活動の反省と次年度の活動方針について話し合い，風土と文化を新しいテーマの一つとすることにした。</p>
補助費を使用した活動とその費用内訳	<p>上述の公開講演会「文学とふるさと」を，愛媛の漢文文化研究会，愛媛大学地域創成研究センターとの共催で，平成18年12月16日(土)午後1：30～午後3：30，愛媛大学教育学部会議室（本館2階）で実施した。</p> <p>補助費はこの公開講演会のポスター作成等の準備費，報告集の刊行のために下記の通り使用した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 準備費 15,525円（インクカートリッジ 8,883円，光沢紙 4,052円，メモリ 2,380円，ファイル 210円） 2. 報告書印刷費 84,000円 3. 未使用 475円（返却）
補助費を使用した成果物等	愛媛大学国際比較文化フォーラム報告集 公開講演会「文学とふるさと」

地域創成研究センター登録研究会・地域貢献組織 平成18年度 補助団体活動報告書

平成19年 3月31日

研究会名	愛媛の漢文文化研究会
代表者名	加藤 國安
本年度の 内部活動	<p>平成18年 8月24日, 愛媛大学にて研究会を開く。 報告者: 吉田公平 (東洋大学文学部教授) 「大洲の陽明学者・川田雄琴の生涯」 加藤國安 「近藤篤山の別子銅山への愛」 場 所 愛媛大学教育学部国語演習室 参加者 約5名</p> <p>平成19年 2月 3日, 愛媛大学にて研究会を開く。 報告者: 吉田公平 (東洋大学文学部教授) 「大洲の陽明学者・川田雄琴の書翰」 加藤國安 「正岡子規の漢詩と俳句」 場 所 愛媛大学教育学部国語演習室 参加者 約6名</p>
本年度の対 外的な活動 内容	<p>平成18年12月 6～7日 法政大学附属図書館 (東京・市ヶ谷キャンパス) 貴重書・子規文庫の漢籍調査 (漁洋詩話などを中心にして)</p> <p>平成18年12月16日 公開講演会「文学とふるさと」 場 所 愛媛大学教育学部 報告者 加藤國安「子規の漢詩ー故郷への思い」 林 康次「アメリカにおける〈ローカリズム〉」 宇和川耕一「ドイツ (文学) における〈故郷 ハイマート〉」 *国際比較文化フォーラムとの共催</p> <p>参加者 約30名 『愛媛大学国際比較文化フォーラム報告集 公開講演会「文学とふるさと」』 (07. 2刊行)</p>